

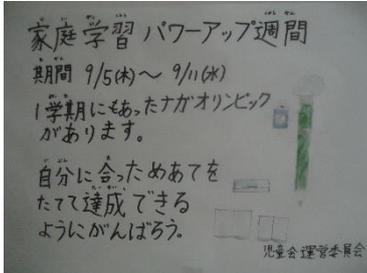


# けやきのように・・・58



長尾小学校・「家庭教育」だより (令和元年9月24日)

## 「家庭学習パワーアップ週間」



9月5日から11日までの1週間、子どもたちは「家庭学習パワーアップ週間」に取り組みました。それぞれ自分に合っためあてを持って取り組みましたが、多くの子どもたちがいっしょけんめいがんばりました。保護者の皆様には、お忙しい中励ましの声かけやノートへのコメント記入など、積極的にかかわってくださりありがとうございました。子どもたちの意欲の向上に、大きな影響を与えてくださいました。



次号の「けやきのように…」で、保護者の皆様にご記入いただいたアンケートについて紹介していきたいと思います。ふれあい参観の時に、努力の足跡、「ナガオリンピック」に出したノートを見てくださったでしょうか？

## 子どもへの声かけ③・「ノー」を「イエス」に変える技術

佐々木圭一氏の「伝え方が9割」という本から、「けやきのように…56号」で子どもへの声かけについて紹介しました。今回もその著書の中から、「ノー」を「イエス」に変える技術について紹介します。ぜひ、ご家庭で試してみてください。

### ①「相手の好きなこと」から話に入っていく

いきなり、「いつまで動画見てるの、やめなさい。」では、「ウザい、わかってる。」といがみ合うようになってしまいます。相手の好きな動画について、「〇〇おもしろそうだね。この後、どうなるの？」と一度話を振って、「じゃあ、一緒に後で見ようよ。先に宿題してからね。」などと反応すると和んだ雰囲気になります。

### ②「嫌いなことを回避」させるように

「芝生に入らないで。」と言うだけでは、効果が上がりません。そこで、「この芝生に入ると、犬のうんこがたくさん付きます。」と言えば、入ろうとはしなくなります。「こちらは嫌いでしょう、だからやらない選択をしましょう。」という切り口を使うといいです。

### ③「選択の自由」を与える

ストレートに「デートしてください。」では、こちら側のメリットしかありません。相手は「決断」しなければなりません。そこで、「とても美味しいパスタのお店と、最高のさぬきうどんのお店、どっちがいい？」と言えば、こっちがいいという「比較」は簡単にできます。相手の好きなものであれば、それを選ぶことができる相手にとってのメリットとなります。選択の自由をつくることで、よりこちらのお願いが受け入れられる可能性が増えます。

### ④「認められたい欲」をかき立てる

人には、「他人に認められたい」「いいところを見せたい」という本能があります。人のDNAには、「認められたい欲」が組み込まれていて、それを満たすために少くも面倒なことでもやろうと思うそうです。「掃除をして。」ではなく、「あなたの掃き方とっても上手できれいになるの。手伝って。」と相手を持ち上げて欲を満たしてあげましょう。

### ⑤「あなた限定」と特別扱いを

「買い物についてきて。」ではなく、「他の人は来なくても、〇〇ちゃんには一緒に買い物に行ってほしい。」と誘ってみましょう。もともと人は限定に弱いのです。「〇個限定」だとか「本日限り」と言われると、ついつい買ってしまったということはないでしょうか？

### ⑥「チームワーク化」をする

「勉強しなさい。」ではなく、「一緒に勉強しよう。」と自分と相手をチームワーク化します。相手が「面倒くさい」「やる必要性がそこまで見つからない。」などと思っている時には、誰かが一緒にするならと感じ、効果があります。

### ⑦「感謝」を伝える

公衆トイレなどでよく見かける、「いつもきれいに使ってくれてありがとう」の貼り紙、「ありがとう」と感謝を伝えられると、ノーとは言いにくいのです。感謝が入ると、人はお断りを拒否しにくくなります。「感謝」は、最終手段にして最大の方法かもしれません。